

プログラム 予定

2023年6月16日(金)

- 会頭講演 「小児医療と保健の近接化を考える」小枝達也（国立成育医療研究センター）
- 基調講演 「子どもを biopsychosocial に捉え、支援する小児保健を目指して」五十嵐隆（国立医療成育研究センター）
- 特別講演 1 「今後の成育保健医療について～こども家庭庁の創設と成育医療等基本方針等の見直しを踏まえて～」山本圭子（こども家庭庁成育局母子保健課）
- 教育講演 1 「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) - これまでとこれから - 」岡部信彦（川崎市健康安全研究所）
- 教育講演 2 「小児がん患者に対する妊性温存療法の現実と課題」鈴木直（聖マリアンナ医科大学）
- 教育講演 3 「成育領域における研究と政策・社会実装との連携推進」竹原健二（国立医療成育研究センター）
- シンポジウム 1 テーマ「氷山の1角である、性的虐待を考える 1次予防から心的外傷の治療まで」

6月17日(土)

- 特別講演 2 大谷美紀子（国連子どもの権利条約委員会委員長、大谷&パートナーズ法律事務所）
- 教育講演 4 「Body, Mind and beyond: 貧困が子どもに及ぼす影響を理解するために」阿部彩（東京都立大学）
- 教育講演 5 「新生児マスキングと子どもの未来」酒井規夫（大阪大学）
- 教育講演 6 「障がいのあるこどもと家族にとっての楽しい食事時間を支えるために」浅野一恵（小羊学園重症心身障害児・者施設 つばさ静岡）
- 教育講演 7 「災害後の子どもの栄養支援について」坪山（笠岡）宜代（医薬基盤・健康・栄養研究所）
- 教育講演 8 「成育医療等基本方針（第2次）の指標」山縣然太郎（山梨大学）
- シンポジウム 2 テーマ「予防接種推進のために何が必要か？」
- シンポジウム 3 テーマ「若手企画シンポジウム」
- シンポジウム 4 テーマ「アレルギー児を取り囲む環境の整備」

6月18日(日)

- 教育講演 9 「強い骨をつくる—小児の場合—」大藪恵一（大阪大学）
- 教育講演 10 「多職種で安全な社会を～CDR（チャイルド・デス・レビュー）のめざすこと～」沼口敦（名古屋大学）
- 教育講演 11 「自殺予防教育と生きる力の支援」川野健治（立命館大学）
- 教育講演 12 「母乳代用品のマーケティングに関する国際規準」：乳幼児栄養を適切に支援するための国際的な基本ルール」名西恵子（東京大学）
- 教育講演 13 「PHR時代の学校保健・学校心臓検診のあり方」石見拓（京都大学）
- 教育講演 14 「これからの子ども医療電話相談」福井聖子（NPO 法人小児救急医療サポートネットワーク）
- シンポジウム 5 テーマ「変わりゆく乳幼児健診」
- シンポジウム 6 テーマ「こどもたちと「いのち」について考える～医療・保健従事者だからできることとは？～」
- シンポジウム 7 テーマ「小児医療、保健におけるITを活用した社会実装推進 (IT と取り入れた医療と保健)」
- ◆市民公開講座 「こどもの気になる行動 なんぞ？ どうする？」柴田光規（川崎西部地域療育センター 所長）
- ◆一般演題
- ◆共催セミナー
- 企業展示

※「小児科専門医単位が計6単位取得可能です」